

大分大学医学部附属病院麻酔科専門研修プログラム

1. 専門医制度の理念と専門医の使命

① 麻酔科専門医制度の理念

麻酔科専門医制度は、周術期の患者の生体管理を中心としながら、救急医療や集中治療における生体管理、種々の疾病および手術を起因とする疼痛・緩和医療などの領域において、患者の命を守り、安全で快適な医療を提供できる麻酔科専門医を育成することで、国民の健康・福祉の増進に貢献する。

② 麻酔科専門医の使命

麻酔科学とは、人間が生存し続けるために必要な呼吸器・循環器等の諸条件を整え、生体の侵襲行為である手術が可能ないように管理する生体管理医学である。麻酔科専門医は、国民が安心して手術を受けられるように、手術中の麻酔管理のみならず、術前・術中・術後の患者の全身状態を良好に維持・管理するために細心の注意を払って診療を行う、患者の安全の最後の砦となる全身管理のスペシャリストである。同時に、関連分野である集中治療や緩和医療、ペインクリニック、救急医療の分野でも、生体管理学の知識と患者の全身管理の技能を生かし、国民のニーズに応じた高度医療を安全に提供する役割を担う。

2. 専門研修プログラムの概要と特徴

大分県内の主要な総合病院と連携し、各施設の特徴を生かすことで、集学的医療ができる専門医を養成する。一般手術麻酔のみならず、心臓血管麻酔、集中治療、ペインクリニックの専門性も盛り込み、周術期をトータルでサポートできる専門医育成が可能。

本研修プログラムでは、専攻医が整備指針に定められた麻酔科研修の到達目標を達成できる専攻医教育を提供し、十分な知識・技術・態度を備えた麻酔科専門医を育成する。麻酔科専門研修プログラム全般に共通する研修内容の特徴などは別途資料**麻酔科専攻医研修マニュアル**に記されている。

3. 専門研修プログラムの運営方針

効果的に知識、技術、態度を研鑽できるカリキュラムを構築し、各施設と連携しながら、その達成度を定期的に確認・評価し、必要な場合には随時修正を加える。

- 麻酔関連領域を網羅して研修するプログラム（後述のローテーション例A）を標準プログラムとし、研修の前半2年間のうち少なくとも1年間、後半2年間のうち6ヶ月は、大分大学医学部附属病院（専門研修基幹施設）で研修を行う。
- その他の研修プログラムとして、小児診療を中心に学ぶプログラム（ローター

ション例B), ペインクリニックを中心に学ぶプログラム(ローテーション例C), 集中治療を中心に学ぶプログラム(ローテーション例D)など, 専攻医のキャリアプランに合わせたローテーションも可能である.

- 上記プログラムでは大学病院だけでなく地域での麻酔関連医療を研修する目的で, 地域医療支援病院である大分県立病院, 大分医療センター, 別府医療センター, 大分赤十字病院, 中津市民病院, アルメイダ病院, 大分岡病院のいずれかで通算3か月以上の研修を行う.
- 上記プログラム(A-D)以外に, 九州地域の専門研修基幹施設との連携プログラム(ローテーション例E)を用意しており, 大分大学医学部附属病院で最低6か月間の研修以外の期間は連携施設と協議して研修プログラムを実施する.
- 研修内容・進行状況に配慮して, プログラムに所属する全ての専攻医が経験目標に必要な特殊麻酔症例数を達成できるように, ローテーションを構築する.

研修実施計画例

	A (標準)	B (小児)	C(ペイン)	D (集中治療)	E (九州連携)
初年度 前期	本院	本院	本院	本院	九州連携施設
初年度 後期	本院	本院	本院	本院	九州連携施設
2年度 前期	本院	本院	本院 (ペイン)	本院 (集中治療)	九州連携施設
2年度 後期	本院	大分県立 病院	本院 (ペイン)	本院 (集中治療)	九州連携施設
3年度 前期	大分県立病院	大分県立 病院	本院 (ペイン)	大分県立病院	九州連携施設
3年度 後期	大分医療セン ター	福岡市立 こども病院	別府医療 センター	大分岡病院	九州連携施設
4年度 前期	別府医療セン ター	福岡市立 こども病院	大分赤十 字病院	大分市医師会 立アルメイダ 病院	本院
4年度 後期	本院 (ペインまた は集中治療)	本院 (集中治療)	本院 (ペイン)	本院 (集中治療)	本院

週間予定表

本院麻酔ローテーションの例

	月	火	水	木	金	土	日
午前	手術室	手術室	手術室	手術室	手術室	手術室	休み
午後	手術室	術前外来	手術室	手術室	手術室	休み	休み
当直			当直				

- 抄読会（金曜日）：関連領域の最新の英文科学論文の紹介，研究報告会.
- 勉強会（適宜）：初期・後期研修医を対象とした関連領域の勉強会.
- 麻酔科，集中治療部のカンファレンス（毎朝）
- 複数の診療科と合同で術前症例検討
- 学会参加：年1回以上，筆頭演者として発表する場合，交通費，宿泊費は援助.
- 論文：研修中に症例報告，原著論文など1編以上作成.
- 学習環境：個人専用デスクの確保.
- その他：大分大学医学部附属図書館への電子ジャーナル及びデータベースの利用可能. 院内で定期的開催される感染，医療安全，倫理等に関する講習会の受講.

4. 研修施設の指導体制と前年度麻酔科管理症例数

本研修プログラム全体における前年度合計麻酔科管理症例数：130325症例

本研修プログラム全体における総指導医数：231人

	合計症例数
小児（6歳未満）の麻酔	6607症例
帝王切開術の麻酔	3753症例
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	5513症例
胸部外科手術の麻酔	5012 症例
脳神経外科手術の麻酔	4205症例

① 専門研修基幹施設

大分大学医学部附属病院（以下，大分大学本院）

研修プログラム統括責任者：北野敬明

専門研修指導医：北野敬明（麻酔，集中治療，ペインクリニック）

松本重清（麻酔，集中治療）

新宮千尋（麻酔）

奥田健太郎（麻酔，ペインクリニック・緩和）

後藤孝治（麻醉，集中治療）
 日高正剛（麻醉，集中治療）
 内野哲哉（麻醉）
 安田則久（麻醉，集中治療）
 古賀寛教（麻醉，集中治療）
 山本俊介（麻醉，集中治療，ペインクリニック・緩和）
 安部隆国（麻醉，集中治療）
 小山淑正（麻醉，心臓麻醉）
 大地嘉史（麻醉，集中治療）
 中野孝美（麻醉）
 牧野剛典（麻醉，集中治療）

専門医：佐々木美圭（麻醉，ペインクリニック・緩和）
 小坂麻里子（麻醉，集中治療，心臓麻醉）
 中村尚子（麻醉）
 松田千尋（麻醉）

麻醉科認定病院番号：237

特徴：ペインクリニック，集中治療のローテーション可能．希望者は緩和ケアチームへの参加可能．

麻醉科管理症例数 3996症例

	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻醉	130症例
帝王切開術の麻醉	99症例
心臓血管手術の麻醉（胸部大動脈手術を含む）	380 症例
胸部外科手術の麻醉	285 症例
脳神経外科手術の麻醉	188症例

② 専門研修連携施設A

A-1 大分県立病院（以下，県立病院）

研修実施責任者：宇野太啓

専門研修指導医：宇野太啓（麻醉，集中治療）

油布克巳（麻醉）

木田景子（麻醉）

西田太一（麻醉）

甲斐真也（麻醉・集中治療）

麻醉科認定病院番号：289

特徴：集中治療のローテーション可能。小児麻酔症例が豊富。

麻酔科管理症例数 2698症例

	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	164症例
帝王切開術の麻酔	25症例
心臓血管手術の麻酔（胸部大動脈手術を含む）	43 症例
胸部外科手術の麻酔	109 症例
脳神経外科手術の麻酔	34症例

A-2 地方独立行政法人福岡市立病院機構 福岡市立こども病院

（以下、福岡市立こども病院）

研修実施責任者：水野圭一郎

専門研修指導医：水野圭一郎（麻酔）

泉薫（麻酔）

住吉理絵子（麻酔）

石川真理子（麻酔）

賀来真里子（麻酔）

認定病院番号：205

特徴：サブスペシャリティとしての小児麻酔を月30～50例のペースで集中的に経験できる。新生児を含む小児全般の気道・呼吸管理の実践的な研修が可能。外科・整形外科・泌尿器科の手術では硬膜外麻酔・神経ブロックを積極的に用いている。急性痛管理にも力を入れており、硬膜外鎮痛やPCAなどを行っている。先天性心疾患の手術件数・成績は国内トップレベルを誇り、研修の進達度に応じて複雑心奇形の根治手術・姑息手術の麻酔管理の担当も考慮する。

麻酔科管理症例数 2913症例

	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	1309症例
帝王切開術の麻酔	166症例
心臓血管手術の麻酔（胸部大動脈手術を含む）	385 症例
胸部外科手術の麻酔	6 症例
脳神経外科手術の麻酔	12症例

A-3 北九州総合病院

研修実施責任者：青山 和義

専門研修指導医：青山 和義（麻醉）
 竹田 貴雄（麻醉，ペインクリニック）
 西村 昌泰（麻醉）
 永田 健充（麻醉）
 大辻 真理（麻醉，救急）
 専門医：野上 裕子（麻醉）
 佐藤 珠美（麻醉）
 添田 祐治（麻醉）

認定病院番号：447

特徴：当院は救命救急センターを有し，高度外傷をはじめ多彩な緊急手術を経験できる．
 神経ブロック併用の整形外科手術も多い．小児，胸部外科，脳神経外科などもバランス
 よく研修可能である．

麻酔科管理症例数 2499症例

	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	158症例
帝王切開術の麻酔	21症例
心臓血管手術の麻酔（胸部大動脈手術を含む）	0症例
胸部外科手術の麻酔	91症例
脳神経外科手術の麻酔	88症例

A-4 熊本大学病院

研修プログラム統括責任者：山本達郎

専門研修指導医：山本達郎（麻醉，ペインクリニック）
 杉田道子（麻醉，ペインクリニック）
 生田義浩（麻醉）
 鷺島克之（麻醉，集中治療）
 吉武 淳（緩和医療）
 成松紀子（麻醉，集中治療）
 洲崎祥子（麻醉，ペインクリニック，緩和医療）
 江嶋正志（麻醉，集中治療）
 隈元泰輔（麻醉）
 小松修治（麻醉，ペインクリニック）
 山田寿彦（麻醉，ペインクリニック）
 橋本正博（麻醉）
 野中崇広（麻醉）

石村達広 (麻醉)
 専門医：徳永祐希子 (麻醉, 緩和医療)
 林田裕美 (麻醉)
 宮川直子 (麻醉)
 柚留木朋子 (麻醉)
 平岡知江子 (麻醉)
 大吉貴文 (麻醉)
 林正清 (麻醉)
 原万里恵 (麻醉)
 光田祐樹 (麻醉)
 中嶋 健 (麻醉)
 中島拓郎 (麻醉, 集中治療)

認定病院番号：34

特徴：ペイン，集中治療，緩和ケアのローテーション可能

麻醉科管理症例数 5322症例

	2019年度
小児（6歳未満）の麻醉	211症例
帝王切開術の麻醉	189症例
心臓血管手術の麻醉（胸部大動脈手術を含む）	259症例
胸部外科手術の麻醉	375症例
脳神経外科手術の麻醉	299症例

A-5 熊本赤十字病院

研修実施責任者：定永道明

専門研修指導医：定永道明 (麻醉, ペインクリニック)

佐土原友弘 (麻醉)
 古閑 匡 (麻醉)
 棚平 大 (麻醉)
 大塚賀子 (麻醉)
 井上克一 (麻醉)
 大塚尚実 (麻醉, 救急)
 専門医：樋口直子 (麻醉)
 清水和子 (麻醉)
 竹永真由 (麻醉)
 高尾 亮 (麻醉)

認定病院番号：166

特徴：総合救命救急センター，こども医療センターを有する地域拠点病院

麻酔科管理症例数 4795症例

経験必要症例	症例数
小児（6歳未満）の麻酔	252症例
帝王切開術の麻酔	100症例
心臓血管手術の麻酔（胸部大動脈手術を含む）	184症例
胸部外科手術の麻酔	162症例
脳神経外科手術の麻酔	207症例

A-6 済生会熊本病院（以下，済生会病院）

研修実施責任者：原武義和

専門研修指導医：原武義和（麻酔）

國徳裕二（麻酔）

坂田羊一朗（麻酔）

加藤清彦（麻酔）

藤田ミキ（麻酔）

中原依里子（麻酔）

村上幸太郎（麻酔）

専門医：中野信彦（麻酔）

認定病院番号：469

特徴：地域医療支援病院の認定を受けた急性期病院として救急や高度医療を地域住民に提供しています。特に地域の中で心疾患，脳疾患の救急患者を多く引き受けています。近年はロボット支援下手術やハイブリッド手術室での低侵襲治療に積極的に取り組んでいます。

麻酔科管理症例数 4422症例

経験必要症例	症例数
小児（6歳未満）の麻酔	0症例
帝王切開術の麻酔	0症例
心臓血管手術の麻酔（胸部大動脈手術を含む）	348症例
胸部外科手術の麻酔	236症例
脳神経外科手術の麻酔	313症例

A-7 国立病院機構熊本医療センター（以下，熊本医療センター）

研修実施責任者：瀧 賢一郎

専門研修指導医：瀧 賢一郎（麻酔，ICU）

古庄千代（麻酔）

宮崎直樹（麻酔）

菊池 忠（麻酔，ICU）

専門医：森永真矢

認定病院番号：267

特徴：地域拠点病院。当院は、救命救急センターを併設した総合病院です。救急車年間搬入台数も8000台を超え、ヘリ搬送対応もおこなっています。麻酔科は緊急手術対応を含め、ICU当直業務をおこなうなど重症患者の全身管理に精通することが可能です。

麻酔科管理症例数 3441症例

経験必要症例	症例数
小児（6歳未満）の麻酔	22症例
帝王切開術の麻酔	0症例
心臓血管手術の麻酔（胸部大動脈手術を含む）	62症例
胸部外科手術の麻酔	9症例
脳神経外科手術の麻酔	78症例

A-8 産業医科大学病院

研修実施責任者：川崎 貴士（麻酔，ペインクリニック）

専門研修指導医：川崎 貴士（麻酔，ペインクリニック）

古賀 和徳（麻酔，ペインクリニック）

原 幸治（麻酔，ペインクリニック）

堀下 貴文（麻酔）

岡田 久乃（麻酔）

福井 遼（麻酔）

竹下 利奈（麻酔）

山崎 遼（麻酔）

蒲地 正幸（麻酔，集中治療）

専門医：秋山 沙織（麻酔）

認定病院番号：184

特徴：産業医科大学病院は、北九州唯一の特定機能病院として高度医療を提供し続けており、地域がん診療連携拠点病院としても地域において重要な役割を担っている。また、手術症例は多岐にわたっており、ほぼ全ての外科系手術の麻酔管理の研修が可能であり、特殊疾患患者の手術も多いため、質の高い教育を提供することができる。

麻酔科管理症例数 5000 症例

経験必要症例	症例数
小児（6歳未満）の麻酔	133 症例
帝王切開術の麻酔	151 症例
心臓血管手術の麻酔（胸部大動脈手術を含む）	68 症例
胸部外科手術の麻酔	387 症例
脳神経外科手術の麻酔	250 症例

A-9 九州労災病院

研修実施責任者：竹中 伊知郎

専門研修指導医：椿 隆行（麻酔）

竹中 伊知郎（麻酔）

佐野 治彦（麻酔）

専門医：南 智子（麻酔）

認定病院番号：425

特徴：整形外科主体の総合病院

麻酔科管理症例数 2806 症例

経験必要症例	症例数
小児（6歳未満）の麻酔	14 症例
帝王切開術の麻酔	55 症例
心臓血管手術の麻酔（胸部大動脈手術を含む）	0 症例
胸部外科手術の麻酔	74 症例
脳神経外科手術の麻酔	67 症例

A-10 神戸労災病院

研修実施責任者：入江 潤

専門研修指導医：入江 潤（麻酔）

伊福 弥生（麻酔）

河野 泰大（麻酔）

専門医：木田 健太郎（麻酔）

認定病院番号：143

特徴：頸椎手術が多く、様々な気道確保症例を経験できる。ペインクリニックの研修も可能である。

麻酔科管理症例数 650 症例

経験必要症例	症例数
小児（6歳未満）の麻酔	0 症例
帝王切開術の麻酔	0 症例
心臓血管手術の麻酔（胸部大動脈手術を含む）	40 症例
胸部外科手術の麻酔	2 症例
脳神経外科手術の麻酔	0 症例

A-11 地域医療機能推進機構九州病院

研修実施責任者：村島 浩二

専門研修指導医：村島 浩二（麻酔）

芳野 博臣（麻酔）

今井 敬子（麻酔）

水山 有紀（麻酔，集中治療）

松本 恵美（麻酔）

専門医：土井 拓（麻酔）

認定病院番号：257

特徴：北九州市西部の地域中核病院として、外科系全ての診療科の麻酔を数多く経験できる。特に、新生児外科、先天性心疾患、産科の症例が豊富である。

麻酔科管理症例数 4257 症例

経験必要症例	症例数
小児（6歳未満）の麻酔	319 症例
帝王切開術の麻酔	180 症例
心臓血管手術の麻酔（胸部大動脈手術を含む）	273 症例
胸部外科手術の麻酔	176 症例
脳神経外科手術の麻酔	67 症例

A-12 久留米大学病院

研修実施責任者：平木照之

専門研修指導医：平木照之（麻酔，心臓血管麻酔，手術医学）

山田信一（麻酔，ペインクリニック，緩和医療）

原将人（麻酔，心臓血管麻酔）

中川景子（麻酔）

津田勝哉（麻酔，ペインクリニック，緩和医療）

平田麻衣子（麻酔）

西尾由美子（麻酔）

横溝泰司（麻酔，ペインクリニック，緩和医療）

横溝美智子（麻酔）

木村寛子（麻酔）：

太田 聡（麻酔）

上瀧 正三郎（麻酔）

麻酔科認定病院番号：0041

特徴：手術麻酔だけでなく，ペインクリニック・緩和ケア病棟での研修を行うことができる．また希望により外科系集中治療部（SICU），救急医療（高度救命救急センター）での研修も行うことができる．

手術麻酔については心臓大血管手術，開頭術，分離肺換気を必要とする開胸術など多数の手術を行っており，重篤な合併症を抱えた患者の麻酔管理も多い．ペインクリニックでは慢性疼痛，急性痛，癌性疼痛の投薬治療や神経ブロック療法を経験することができる．また脊椎疾患や多汗症の手術治療や癌性疼痛，難治性疼痛に対する永久ブロックやSCSによる治療などを経験することができる．緩和医療では終末期がん患者の疼痛管理や苦痛に対する治療を経験できる．看取り期に必要な医療の提供の方法を学ぶことができる．

麻酔科管理症例数 6119 症例

経験必要症例	症例数
小児（6歳未満）の麻酔	292 症例
帝王切開術の麻酔	255 症例
心臓血管手術の麻酔（胸部大動脈手術を含む）	297 症例
胸部外科手術の麻酔	254 症例
脳神経外科手術の麻酔	194 症例

A-13 久留米大学医療センター

研修実施責任者：濱田伸哉

専門研修指導医：濱田伸哉（麻酔）

麻酔科認定病院番号：1451

特徴：クリニカルパスを含めた，手術麻酔のマネジメントを経験できる．また整形外科疾患におけるエコーガイド下末梢神経ブロックを集中的に経験することができる．

麻酔科管理症例数 832 症例

経験必要症例	症例数
小児（6歳未満）の麻酔	0 症例
帝王切開術の麻酔	0 症例

心臓血管手術の麻酔（胸部大動脈手術を含む）	0 症例
胸部外科手術の麻酔	0 症例
脳神経外科手術の麻酔	0 症例

A-14 大牟田市立病院

研修実施責任者：山田阿貴子

専門研修指導医：伊藤貴彦（麻酔，救急医療）

山田阿貴子（麻酔）

麻酔科認定病院番号：0386

特徴：地域医療支援病院，がん診療拠点病院，災害拠点病院．小児麻酔や産科麻酔，脳神経外科や胸部外科の症例が豊富で緊急手術も多い．災害拠点病院でもあり，救急医療にも力を入れている．

麻酔科管理症例数 1947 症例

経験必要症例	症例数
小児（6歳未満）の麻酔	22 症例
帝王切開術の麻酔	80 症例
心臓血管手術の麻酔（胸部大動脈手術を含む）	14 症例
胸部外科手術の麻酔	5 症例
脳神経外科手術の麻酔	23 症例

A-15 大分三愛メディカルセンター

研修実施責任者：三島康典

専門研修指導医：三島康典（麻酔，心臓血管麻酔）

工藤亨祐（麻酔，心臓血管麻酔）

竹内奈央（麻酔）

麻酔科認定病院番号：1545

特徴：高齢者の麻酔を中心に，手術麻酔のマネジメントを経験できる．

麻酔科管理症例数 877 症例

経験必要症例	症例数
小児（6歳未満）の麻酔	2 症例
帝王切開術の麻酔	0 症例
心臓血管手術の麻酔（胸部大動脈手術を含む）	0 症例
胸部外科手術の麻酔	6 症例
脳神経外科手術の麻酔	29 症例

A-16 琉球大学病院

研修プログラム統括責任者：垣花学

専門研修指導医：垣花 学（麻醉）

中村清哉（麻醉，ペインクリニック・緩和）

渊上達也（麻醉，集中治療）

大城匡勝（麻醉）

照屋孝二（麻醉，集中治療）

野口信弘（麻醉）

神里興太（麻醉，集中治療）

安部真教（麻醉，ペインクリニック・緩和）

大久保潤一（麻醉，ペインクリニック・緩和）

宜野座到（麻醉）

久保田陽秋（麻醉）

林 美鈴（麻醉）

仲嶺洋介（麻醉）

赤嶺 斉（麻醉）

渡邊洋平（麻醉）

専門医：波平紗織（麻醉）

金城健大（麻醉）

認定病院番号：94

特徴：先進的な幅広い症例が経験でき，指導体制も充実している．集中治療，ペインクリニックを含む集学的な周術期管理を学べる．

麻醉科管理症例数 6949 症例

経験必要症例	症例数
小児（6歳未満）の麻醉	211 症例
帝王切開術の麻醉	145 症例
心臓血管手術の麻醉（胸部大動脈手術を含む）	265 症例
胸部外科手術の麻醉	61 症例
脳神経外科手術の麻醉	120 症例

A-17 九州大学病院

研修プログラム管理者：山浦 健（麻醉）

専門研修指導医：山浦 健（麻醉）

東 みどり子 (麻醉)
 辛島 裕士 (麻醉)
 神田橋 忠 (麻醉)
 徳田 賢太郎 (麻醉, 集中治療, 救急)
 牧 盾 (麻醉, 集中治療, 救急)
 藤吉 哲宏 (麻醉, 集中治療, 救急)
 前田 愛子 (麻醉, ペインクリニック)
 白水 和宏 (麻醉, 集中治療, 救急)
 住江 誠 (麻醉)
 中山 徹三 (麻醉)
 松下 克之 (麻醉)
 梅原 薫 (麻醉)
 大澤 さやか (麻醉, 集中治療, 救急)
 阿部 潔和 (麻醉)
 中垣 俊明 (麻醉)
 福德 花菜 (麻醉, 緩和ケア)
 信國 桂子 (麻醉)
 藤田 愛 (麻醉)
 木村 真実 (麻醉)
 専門医: 中山 昌子 (麻醉, ペインクリニック)
 渡邊 雅嗣 (麻醉)
 佐々木 翔一 (麻醉)
 犬塚 愛美 (麻醉)
 山本 美佐紀 (麻醉)
 三月田 麻理奈 (麻醉)

認定病院番号: 8

特徴:九州大学病院は、全国でも最大規模の手術症例数を持っている。特に移植手術(心臓・肝臓・腎臓・膵臓等)や特殊な心臓手術(先天性心疾患, 経カテーテル的大動脈弁置換術), ロボット手術等の症例数も多く, 高度で専門的な麻酔の研修を行うことができる。また, 集中治療・救急医療・ペインクリニック・緩和ケアなど, 関連分野での幅広い研修を行うことができる。

麻酔科管理症例数 10362 症例

経験必要症例	症例数
小児(6歳未満)の麻酔	628 症例
帝王切開術の麻酔	311 症例

心臓血管手術の麻酔（胸部大動脈手術を含む）	679 症例
胸部外科手術の麻酔	615 症例
脳神経外科手術の麻酔	459 症例

A-18 国立病院機構 九州医療センター（以下、九州医療センター）

研修プログラム管理者：甲斐 哲也（麻酔，ペインクリニック）

専門研修指導医：甲斐 哲也（麻酔，ペインクリニック）

虫本 新恵（麻酔）

牧園 玲子（麻酔）

小林 祐紀子（麻酔）

吉野 裕子（麻酔）

専門医：小野 悦子（麻酔）

川久保 紹子（麻酔）

富永 昌周（麻酔）

新原 妙子（麻酔）

認定病院番号：697

特徴：外科系の全診療科を有し、麻酔科専門医に求められる全ての領域の麻酔を経験することができる。全身麻酔は全静脈麻酔を主体とし、速やかで質の高い覚醒と術後嘔気の少ない良質な麻酔を目指しており、全静脈麻酔を多数経験することができる。術後鎮痛に配慮してエコーガイド下末梢神経ブロックを積極的に施行しており、対象症例も多いため、神経ブロックも多く経験することができる。術後ivPCAを施行する患者も多く、そのコントロールへの関与も可能である。

麻酔科管理症例数 4450 症例

経験必要症例	症例数
小児（6歳未満）の麻酔	76 症例
帝王切開術の麻酔	243 症例
心臓血管手術の麻酔（胸部大動脈手術を含む）	144 症例
胸部外科手術の麻酔	225 症例
脳神経外科手術の麻酔	160 症例

A-19 社会福祉法人恩賜財団済生会 福岡県済生会福岡総合病院（以下、済生会福岡病院）

研修実施責任者：吉村 速（麻酔）

専門研修指導医：吉村 速（麻酔）

倉富 忍（麻酔）

田口 祥子（麻醉）
 八田 万里子（麻醉）
 渡邊 麻美（麻醉）
 牛尾 春香（麻醉）

認定病院番号：1043

特徴：済生会福岡総合病院は、福岡市の中心に位置する中規模急性期総合病院である。ICU/CCUが整備されており、難易度の高い術式や循環器などの重症合併症を有する患者の手術症例が多く施行されている。また、第3次救急救命センターを有することから、緊急症例が多く、全手術件数の20%以上が緊急手術で、心臓外科・外科・脳外科・多発外傷等の緊急手術に365日24時間対応している。さらに、地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、福岡県災害拠点病院に指定されており、地域の医療の一翼を担っている。

麻醉科管理症例数 3475 症例

経験必要症例	症例数
小児（6歳未満）の麻醉	11 症例
帝王切開術の麻醉	39 症例
心臓血管手術の麻醉（胸部大動脈手術を含む）	155 症例
胸部外科手術の麻醉	163 症例
脳神経外科手術の麻醉	169 症例

A-20 雪の聖母会 聖マリア病院（以下、聖マリア病院）

研修実施責任者：藤村直幸（麻醉・救急・集中治療）

専門研修指導医：藤村直幸（麻醉・救急・集中治療）

吉野 淳（麻醉）
 自見宣郎（麻醉）
 甘蔗真純（麻醉）
 漢那 朝雄（麻醉・救急・集中治療）
 坂井 寿里亜（麻醉）
 新井 千晶（麻醉）
 田中 麻衣（麻醉）

認定病院番号：483

特徴：当院の手術室は15室あり手術室の規模としては大きく、年間手術件数は8000件を超えています。41の診療科を標榜しており、心臓血管外科、脳神経外科、呼吸器外1科医、移植外科、小児外科、形成外科など、様々な科の手術に対する麻醉を経験することができます。救命救急センターへは年間10000台を超える救急者の受け入れ実績があり、ま

た総合周産期母子医療センターを併設しているため、緊急手術が必要な重症患者やハイリスク妊婦に対する麻酔管理も行っています。整形外科，呼吸器外科，小児外科手術に対しては，超音波ガイド下神経ブロックを併用し術後鎮痛をはかっており，幅広い研修が可能です。

麻酔科管理症例数 5532 症例

経験必要症例	症例数
小児（6歳未満）の麻酔	649 症例
帝王切開術の麻酔	309 症例
心臓血管手術の麻酔（胸部大動脈手術を含む）	173 症例
胸部外科手術の麻酔	136 症例
脳神経外科手術の麻酔	151 症例

A-21 那覇市立病院

研修実施責任者：宮田裕史

専門研修指導医：宮田裕史（麻酔）

比嘉達也（麻酔，ペイン）

富山 洋（麻酔，集中治療）

福元千尋（麻酔）

認定病院番号：504

特徴：緊急手術等の麻酔，集中治療のローテーション可能

麻酔科管理症例数 2640症例

経験必要症例	症例数
小児（6歳未満）の麻酔	97症例
帝王切開術の麻酔	159症例
心臓血管手術の麻酔（胸部大動脈手術を含む）	0症例
胸部外科手術の麻酔	45症例
脳神経外科手術の麻酔	258症例

A-22 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター（以下，医療センター）

研修実施責任者：川端徹也（麻酔）

専門研修指導医：川端徹也（麻酔，小児麻酔）

比嘉久栄（麻酔，心臓血管麻酔）

兼城真帆（麻酔）

野中信一郎（麻酔）

専門医：橋爪勇介（麻酔，緩和ケア）

桃原志穂（麻酔）

認定病院番号：409

特徴：小児麻酔，心臓血管外科麻酔，脳外科症例麻酔が多数経験可能

麻酔科管理症例数 3221症例

経験必要症例	症例数
小児（6歳未満）の麻酔	567症例
帝王切開術の麻酔	251症例
心臓血管手術の麻酔（胸部大動脈手術を含む）	475症例
胸部外科手術の麻酔	14症例
脳神経外科手術の麻酔	174症例

A-23 福岡大学病院

研修プログラム統括責任者：秋吉 浩三郎

専門研修指導医：秋吉 浩三郎（麻酔，心臓血管麻酔，緩和ケア）

重松 研二（麻酔，集中治療）

原賀 勇壮（麻酔，緩和ケア）

柴田 志保（麻酔，ペインクリニック）

岩下 耕平（麻酔，集中治療）

佐藤 聖子（麻酔，産科麻酔，小児麻酔）

富永 健二（麻酔，心臓血管麻酔）

三股 亮介（麻酔，心臓血管麻酔）

大脇 涼子（麻酔，心臓血管麻酔）

平井 規雅（麻酔，ペインクリニック）

富永 将三（麻酔，小児麻酔）

十時 崇彰（麻酔，集中治療）

南原 菜穂子（麻酔）

麻酔科認定病院番号：92

特徴：年間手術症例数は8,500例余り，そのうち約7,100症例を麻酔科が管理しています。脳死および生体肺移植術があること，心大血管手術や外傷手術が多いため，緊急手術の割合が高いことが特徴です。症例数が豊富であり，麻酔科専門研修プログラムに必要な症例はすべて経験することができます。麻酔管理では，超音波ガイド下の末梢神経ブロックを数多く行っており，術後の疼痛管理にも積極的に取り組んでいます。また，周術期管理センターを開設しており，周術期管理チームとして看護師・薬剤師・歯科衛生士・栄養士と連携し，全身状態の評価を入院前から行っています。外科系集中治療室

は麻酔科医が主体となって運営されており、術後の全身管理を学ぶことが可能です。ペインクリニックでは急性痛・慢性痛に対する薬物療法や神経ブロックを経験できます。緩和ケアではチームの一員としてがん患者とその家族の身体的・精神的苦痛を和らげる支援をしています。その他、神経ブロックを始めとする各種講習会や研修会を定期的に開催しており、様々な資格・認定を取得することも可能です。

麻酔科管理症例数 7127症例

経験必要症例	症例数
小児（6歳未満）の麻酔	424症例
帝王切開術の麻酔	218症例
心臓血管手術の麻酔（胸部大動脈手術を含む）	232 症例
胸部外科手術の麻酔	246 症例
脳神経外科手術の麻酔	229症例

A-24 日本赤十字社 福岡赤十字病院

研修実施責任者：生野慎二郎

専門研修指導医：生野慎二郎（麻酔）

：江口 明（麻酔）

：迎 雅彦（麻酔）

：中森絵里砂（麻酔）

認定病院番号 243

特徴：帝王切開術，心臓血管手術，胸部外科手術，脳神経外科手術の症例数は週に1例以上あり，帝王切開術は特に多い。全身麻酔を基本に，硬膜外麻酔，脊髄くも膜下麻酔，神経ブロックを併用した麻酔管理を行っている。近年は麻酔困難症例に対して超音波ガイド下の神経ブロックを積極的に行っている。腎センターが併設されており，透析患者の麻酔管理も多い。

麻酔科管理症例数 3255 症例

経験必要症例	症例数
小児（6歳未満）の麻酔	18 症例
帝王切開術の麻酔	259 症例
心臓血管手術の麻酔（胸部大動脈手術を含む）	50 症例
胸部外科手術の麻酔	91 症例
脳神経外科手術の麻酔	38 症例

A-25 福岡大学筑紫病院

研修実施責任者：若崎るみ枝

専門研修指導医：若崎るみ枝（麻酔）

中原春奈（麻酔）

野口紗織（麻酔）

熊野仁美（麻酔）

麻酔科認定病院番号 398

特徴：

- ① 炎症性腸疾患（クローン病，潰瘍性大腸炎）の症例数が全国的にも多く，大腸全摘や肛門周囲膿瘍切開排膿術など，疾患に関連した手術が多い。
- ② 肩関節手術を含めた整形外科症例数が多く，神経ブロックを行う症例が豊富である。
- ③ 一般外科は食道，膵臓，肝臓，結腸，肺，胆嚢，鼠径ヘルニアなどの腹腔鏡手術，開腹手術が多く行われており，バランスよくどちらの麻酔も学ぶことができる。
- ④ 希望者は緩和ケアチームへの参加可能。

麻酔科管理症例数 1991 症例

経験必要症例	症例数
小児（6歳未満）の麻酔	30 症例
帝王切開術の麻酔	0 症例
心臓血管手術の麻酔（胸部大動脈手術を含む）	0 症例
胸部外科手術の麻酔	77 症例
脳神経外科手術の麻酔	14 症例

A-26 宮崎大学医学部附属病院

研修プログラム統括責任者：恒吉 勇男

専門研修指導医：恒吉 勇男（麻酔，集中治療，ペインクリニック）

指宿 昌一郎（麻酔，手術部）

谷口 正彦（集中治療）

白阪 哲朗（麻酔）

河野 太郎（麻酔）

山賀 昌治（ペインクリニック）

矢野 武志（集中治療）

新福 玄二（麻酔）

丸田 豊明（麻酔）

山下 幸貴（麻酔）

與那覇 哲（集中治療）

専門医：越田 智広（麻醉）
 川崎祐子（麻醉）
 長濱真澄（集中治療）
 田村 真由子（麻醉）
 日高康太郎（麻醉）
 石山健次郎（麻醉）
 宮里岳志（麻醉）
 太田尾剛（麻醉）
 古澤 高廣（集中治療）
 深尾麻由（麻醉）
 村社瑞穂（集中治療）

麻醉科認定病院番号：174

特徴：宮崎大学では、麻醉の初歩から食道がん手術や心臓手術などの高度な麻醉に加え、ICUやペインクリニックなどの専門技術を習得する。最先端手術のTAVI手術やロボット手術（ダビンチ手術）の麻醉も経験できる。

麻醉科管理症例数 4643 症例

経験必要症例	症例数
小児（6歳未満）の麻醉	281 症例
帝王切開術の麻醉	66 症例
心臓血管手術の麻醉（胸部大動脈手術を含む）	258 症例
胸部外科手術の麻醉	120 症例
脳神経外科手術の麻醉	212 症例

A-27 佐賀大学医学部附属病院（以下、佐賀大学病院）

研修プログラム統括責任者：坂口 嘉郎

専門研修指導医：坂口 嘉郎（麻醉，集中治療）

平川 奈緒美（麻醉，ペインクリニック）

瀬戸口 秀一（麻醉）

谷川 義則（麻醉，集中治療）

中川内 章（麻醉，集中治療）

中村 公秀（麻醉，集中治療）

山田 康貴（麻醉）

高口 由希恵（麻醉）

今村 乙峰（麻醉）

草場 真一郎（麻醉）

高瀬 浩二郎（麻醉）
専門医：山下 友子（集中治療）
天本 啓介（麻醉）

認定病院番号 238

特徴：大学病院であり、重症症例を含む幅広い手術麻醉の経験ができ、専門研修指導医が充実している。ペインクリニック、集中治療のローテーションも可能である。

麻醉科管理症例数 5012症例

経験必要症例	症例数
小児（6歳未満）の麻醉	182 症例
帝王切開術の麻醉	77 症例
心臓血管手術の麻醉（胸部大動脈手術を含む）	95 症例
胸部外科手術の麻醉	153 症例
脳神経外科手術の麻醉	138 症例

A-28 地方独立行政法人 佐賀県医療センター好生館（以下、好生館）

研修実施責任者：三浦 大介

専門研修指導医：三浦 大介（麻醉，心臓血管麻醉）

小杉 寿文（緩和ケア，ペインクリニック）

三溝 慎次（集中治療）

石川 亜佐子（麻醉，ペインクリニック）

富田 由紀子（麻醉）

諸隈 明子（麻醉）

久我 公美子（麻醉）

田代 直規（麻醉）

古賀 美佳（集中治療）

専門医：久保 麻悠子（麻醉，緩和ケア）

吉武 美緒（麻醉）

認定病院番号 393

特徴：地域中核病院であり、幅広い手術麻醉の経験ができ、手術件数が多いため豊富な麻醉経験ができる。小児外科があり、小児麻醉の経験が多くできる。緩和ケア病棟を併設しているため、緩和ケアの研修が充実している。

麻醉科管理症例数 4343症例

経験必要症例	症例数
小児（6歳未満）の麻醉	129 症例

帝王切開術の麻酔	85 症例
心臓血管手術の麻酔（胸部大動脈手術を含む）	57 症例
胸部外科手術の麻酔	144 症例
脳神経外科手術の麻酔	84 症例

A-29 独立行政法人国立病院機構 嬉野医療センター（以下、嬉野医療センター）

研修実施責任者：香月 亮

専門研修指導医：香月 亮（麻酔，心臓血管麻酔，ペインクリニック，緩和ケア）

杉山 馨祐（麻酔，緩和ケア）

山口 奈央子（麻酔，緩和ケア）

専門医：北村 静香（麻酔，緩和ケア）

認定病院番号 918

特徴：地域中核病院であり，幅広い手術麻酔の経験ができる．緊急手術，心臓血管外科手術の豊富な麻酔経験ができる．緩和ケアの研修も可能である．

麻酔科管理症例数 2063症例

経験必要症例	症例数
小児（6歳未満）の麻酔	16 症例
帝王切開術の麻酔	53症例
心臓血管手術の麻酔（胸部大動脈手術を含む）	113 症例
胸部外科手術の麻酔	76 症例
脳神経外科手術の麻酔	39 症例

③ 専門研修連携施設B

B-1 大分赤十字病院

研修実施責任者：松本浩司

専門研修指導医：松本浩司（麻酔，集中治療）

蔀亮（麻酔）

麻酔科認定病院番号：1079

特徴：胸腹部外科の症例が豊富．

麻酔科管理症例数 1067症例

経験必要症例	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	0症例
帝王切開術の麻酔	0症例

心臓血管手術の麻酔（胸部大動脈手術を含む）	0症例
胸部外科手術の麻酔	113 症例
脳神経外科手術の麻酔	0症例

B-2 大分医療センター

研修実施責任者：岩本亜津子

専門研修指導医：岩本亜津子（麻酔）

北佳奈子（麻酔）

麻酔科認定病院番号：734

特徴：腹部手術や整形外科手術が主で術後鎮痛を積極的に行っている。ICLSや災害医療への取り組みを麻酔科主導で行っている。

麻酔科管理症例数 632症例

経験必要症例	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	0症例
帝王切開術の麻酔	0症例
心臓血管手術の麻酔（胸部大動脈手術を含む）	0症例
胸部外科手術の麻酔	2 症例
脳神経外科手術の麻酔	0症例

B-3 大分市医師会立アルメイダ病院

研修実施責任者：岩坂日出男

専門研修指導医：岩坂日出男（麻酔，集中治療）

：伊藤大真（麻酔，ペインクリニック）

：田原里美（麻酔）

専門医：木村めぐみ（麻酔）

麻酔科認定病院番号：1583

特徴：バランスよく症例が経験でき，小児症例も多い。

麻酔科管理症例数 1681症例

経験必要症例	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	147症例
帝王切開術の麻酔	57 症例
心臓血管手術の麻酔（胸部大動脈手術を含む）	48 症例
胸部外科手術の麻酔	56 症例
脳神経外科手術の麻酔	14症例

B-4 大分岡病院

研修実施責任者：帆足修一

専門研修指導医：帆足修一（麻醉）

麻醉科認定病院番号：1328

特徴：心臓血管麻醉症例が豊富.

麻醉科管理症例数 1506症例

	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻醉	9症例
帝王切開術の麻醉	0 症例
心臓血管手術の麻醉（胸部大動脈手術を含む）	159 症例
胸部外科手術の麻醉	0 症例
脳神経外科手術の麻醉	3症例

B-5 中津市民病院

研修実施責任者：浅井信彦

専門研修指導医：浅井信彦（麻醉）

麻醉科認定病院番号：1515

特徴：症例の種類も豊富で、胸部外科手術が多い.

麻醉科管理症例数 1260症例

	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻醉	33症例
帝王切開術の麻醉	45 症例
心臓血管手術の麻醉（胸部大動脈手術を含む）	63 症例
胸部外科手術の麻醉	120 症例
脳神経外科手術の麻醉	13症例

B-6 筑後市立病院

研修実施責任者：古賀由香利

専門研修指導医：古賀由香利（麻醉）

麻醉科認定病院番号：0900

特徴：災害拠点病院. 鏡視下手術の麻醉や手術室外での麻醉を経験できる.

麻醉科管理症例数 1090 症例

経験必要症例	症例数
小児（6歳未満）の麻酔	16 症例
帝王切開術の麻酔	0 症例
心臓血管手術の麻酔（胸部大動脈手術を含む）	0 症例
胸部外科手術の麻酔	0 症例
脳神経外科手術の麻酔	0 症例

B-7 別府医療センター

研修実施責任者：大石一成

専門研修指導医：大石一成（麻酔，集中治療）

古賀聡子（麻酔）

専門医：小林加織（麻酔）

麻酔科認定病院番号：629

特徴：集中治療のローテーション可能。帝王切開の症例も多い。また神経ブロック併用の麻酔も積極的に行っており、症例件数も多く学べる。

麻酔科管理症例数 2217症例

	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	36症例
帝王切開術の麻酔	115症例
心臓血管手術の麻酔（胸部大動脈手術を含む）	65 症例
胸部外科手術の麻酔	68 症例
脳神経外科手術の麻酔	33症例

B-8 熊本中央病院

研修実施責任者：前川 謙悟

専門研修指導医：前川 謙悟（麻酔）

棚平千代子（麻酔）

専門医：山田美咲（麻酔）

認定病院番号：192

特徴：循環器疾患（開心術，TAVIなど血管内治療）や呼吸器外科（がん診療）の麻酔管理を中心に指導医のもとで数多く経験できます。

麻酔科管理症例数 2551症例

経験必要症例	症例数
小児（6歳未満）の麻酔	17症例

帝王切開術の麻酔	0症例
心臓血管手術の麻酔（胸部大動脈手術を含む）	129症例
胸部外科手術の麻酔	272症例
脳神経外科手術の麻酔	39症例

B-9 福岡東医療センター

研修実施責任者：白武 孝久

専門研修指導医：白武 孝久（麻酔）

認定病院番号：654

特徴：呼吸器外科手術が多い。

麻酔科管理症例数：1661例

B-10 独立行政法人国立病院機構 九州がんセンター

研修実施責任者：小河原 利帆子（麻酔）

専門研修指導医：秋吉 浩美（麻酔）

認定病院番号 774

特徴：がん専門病院であり、進行癌に対する複数科合同手術の麻酔が経験できる。

頭頸科領域悪性腫瘍手術に対する腫瘍切除、遊離空腸皮弁による再建術、また下部消化管進行癌に対する泌尿器科または婦人科合同の骨盤内臓全摘出術などがある。

腹腔鏡下腹臥位、開胸仰臥位食道切除再建術を含む分離肺換気症例も多い。

麻酔科管理症例数：1840例

B-11 白十字病院

研修実施責任者：平井 孝直

専門研修指導医：平井 孝直（麻酔）

水城 透（麻酔）

認定病院番号 1140

特徴：

① 整形外科・泌尿器科の手術症例数が多く、脊髄クモ膜下麻酔、硬膜外麻酔、伝達麻酔などの区域麻酔併用症例が豊富である。

② 腹部消化器外科手術の症例数が多い。

心臓血管外科症例が、年々増加しており、特に低侵襲心臓手術が多い

麻酔科管理症例数：1272例

5. 募集定員

14名

(*募集定員は、4年間の経験必要症例数が賄える人数とする。複数のプログラムに入っている施設は、各々のプログラムに症例数を重複計上しない)

6. 専攻医の採用と問い合わせ先

① 採用方法

専攻医に応募する者は、日本専門医機構に定められた方法により、期限までに(2020年10月ごろを予定)志望の研修プログラムに応募する。

② 問い合わせ先

本研修プログラムへの問い合わせは、大分大学麻酔科専門研修プログラムwebsite、電話、e-mail、郵送のいずれの方法でも可能である。

大分大学 医学部 麻酔科学講座 松本重清

大分県由布市挾間町医大ヶ丘1-1

TEL 097-586-5943

E-mail sigekiyo@oita-u.ac.jp

Website <http://www.med.oita-u.ac.jp/anesth/>

7. 麻酔科医資格取得のために研修中に修めるべき知識・技能・態度について

① 専門研修で得られる成果(アウトカム)

麻酔科領域の専門医を目指す専攻医は、4年間の専門研修を修了することで、安全で質の高い周術期医療およびその関連分野の診療を実践し、国民の健康と福祉の増進に寄与することができるようになる。具体的には、専攻医は専門研修を通じて下記の4つの資質を修得した医師となる。

- 1) 十分な麻酔科領域、および麻酔科関連領域の専門知識と技能
- 2) 刻々と変わる臨床現場における、適切な臨床的判断能力、問題解決能力
- 3) 医の倫理に配慮し、診療を行う上での適切な態度、習慣
- 4) 常に進歩する医療・医学に則して、生涯を通じて研鑽を継続する向上心

麻酔科専門研修後には、大学院への進学やサブスペシャリティー領域の専門研修を開始する準備も整っており、専門医取得後もシームレスに次の段階に進み、個々のスキルアップを図ることが出来る。

② 麻酔科専門研修の到達目標

国民に安全な周術期医療を提供できる能力を十分に備えるために、研修期間中に別途資料**麻酔科専攻医研修マニュアル**に定められた専門知識、専門技能、学問的姿勢、医師としての倫理性と社会性に関する到達目標を達成する。

③ 麻酔科専門研修の経験目標

研修期間中に専門医としての十分な知識、技能、態度を備えるために、別途資料**麻酔科専攻医研修マニュアル**に定められた経験すべき疾患・病態、経験すべき診療・検査、経験すべき麻酔症例、学術活動の経験目標を達成する。

このうちの経験症例に関して、原則として研修プログラム外の施設での経験症例は算定できないが、地域医療の維持など特別の目的がある場合に限り、研修プログラム管理委員会が認めた認定病院において卒後臨床研修期間に経験した症例のうち、専門研修指導医が指導した症例に限っては、専門研修の経験症例数として数えることができる。

8. 専門研修方法

別途資料**麻酔科専攻医研修マニュアル**に定められた1) 臨床現場での学習、2) 臨床現場を離れた学習、3) 自己学習により、専門医としてふさわしい水準の知識、技能、態度を修得する。

9. 専門研修中の年次毎の知識・技能・態度の修練プロセス

専攻医は研修カリキュラムに沿って、下記のように専門研修の年次毎の知識・技能・態度の到達目標を達成する。

専門研修1年目

手術麻酔に必要な基本的な手技と専門知識を修得し、ASA 1～2度の患者の通常の定時手術に対して、指導医の指導のもと、安全に周術期管理を行うことができる。

専門研修2年目

1年目で修得した技能、知識をさらに発展させ、全身状態の悪いASA 3度の患者の周術期管理やASA 1～2度の緊急手術の周術期管理を、指導医の指導のもと、安全に行うことができる。

専門研修3年目

心臓外科手術、胸部外科手術、脳神経外科手術、帝王切開手術、小児手術などを経験し、さまざまな特殊症例の周術期管理を指導医のもと、安全に行うことができる。また、

ペインクリニック，集中治療，救急医療など関連領域の臨床に携わり，知識・技能を修得する。

専門研修 4 年目

3 年目の経験をさらに発展させ，さまざまな症例の周術期管理を安全に行うことができる。基本的にトラブルのない症例は一人で周術期管理ができるが，難易度の高い症例，緊急時などは適切に上級医をコールして，患者の安全を守ることができる。

10. 専門研修の評価（自己評価と他者評価）

① 形成的評価

- 研修実績記録：専攻医は毎研修年次末に，**専攻医研修実績記録フォーマット**を用いて自らの研修実績を記録する。研修実績記録は各施設の専門研修指導医に渡される。
- 専門研修指導医による評価とフィードバック：研修実績記録に基づき，専門研修指導医は各専攻医の年次ごとの知識・技能・適切な態度の修得状況を形成的評価し，**研修実績および到達度評価表，指導記録フォーマット**によるフィードバックを行う。研修プログラム管理委員会は，各施設における全専攻医の評価を年次ごとに集計し，専攻医の次年次以降の研修内容に反映させる。

② 総括的評価

研修プログラム管理委員会において，専門研修 4 年次の最終月に，**専攻医研修実績フォーマット，研修実績および到達度評価表，指導記録フォーマット**をもとに，研修カリキュラムに示されている評価項目と評価基準に基づいて，各専攻医が専門医にふさわしい①専門知識，②専門技能，③医師として備えるべき学問的姿勢，倫理性，社会性，適性等を修得したかを総合的に評価し，専門研修プログラムを修了するのに相応しい水準に達しているかを判定する。

11. 専門研修プログラムの修了要件

各専攻医が研修カリキュラムに定めた到達目標，経験すべき症例数を達成し，知識，技能，態度が専門医にふさわしい水準にあるかどうか修了要件である。各施設の研修実施責任者が集まる研修プログラム管理委員会において，研修期間中に行われた形成的評価，総括的評価を元に修了判定が行われる。

12. 専攻医による専門研修指導医および研修プログラムに対する評価

専攻医は，毎年次末に専門研修指導医および研修プログラムに対する評価を行い，研修プログラム管理委員会に提出する。評価を行ったことで，専攻医が不利益を被らない

ように、研修プログラム統括責任者は、専攻医個人を特定できないような配慮を行う義務がある。

研修プログラム統括管理者は、この評価に基づいて、すべての所属する専攻医に対する適切な研修を担保するために、自律的に研修プログラムの改善を行う義務を有する。

13. 専門研修の休止・中断，研修プログラムの移動

① 専門研修の休止

- 専攻医本人の申し出に基づき、研修プログラム管理委員会が判断を行う。
- 出産あるいは疾病などに伴う6ヶ月以内の休止は1回までは研修期間に含まれる。
- 妊娠・出産・育児・介護・長期療養・留学・大学院進学など正当な理由がある場合は、連続して2年迄休止を認めることとする。休止期間は研修期間に含まれない。研修プログラムの休止回数に制限はなく、休止期間が連続して2年を越えていなければ、それまでの研修期間はすべて認められ、通算して4年の研修期間を満たせばプログラムを修了したものとみなす。
- 2年を越えて研修プログラムを休止した場合は、それまでの研修期間は認められない。ただし、地域枠コースを卒業し医師免許を取得した者については、卒後に課せられた義務を果たすために特例扱いとし2年以上の休止を認める。

② 専門研修の中断

- 専攻医が専門研修を中断する場合は、研修プログラム管理委員会を通じて日本専門医機構の麻酔科領域研修委員会へ通知をする。
- 専門研修の中断については、専攻医が臨床研修を継続することが困難であると判断した場合、研修プログラム管理委員会から専攻医に対し専門研修の中断を勧告できる。

④ 研修プログラムの移動

- 専攻医は、やむを得ない場合、研修期間中に研修プログラムを移動することができる。その際は移動元、移動先双方の研修プログラム管理委員会を通じて、日本専門医機構の麻酔科領域研修委員会の承認を得る必要がある。麻酔科領域研修委員会は移動をしても当該専攻医が到達目標の達成が見込まれる場合にのみ移動を認める。

14. 地域医療への対応

本研修プログラムの連携施設には、地域医療の中核病院としての大分県立病院，別府医療センターなど幅広い連携施設が入っている。医療資源の少ない地域においても安全な手術の施行に際し、適切な知識と技量に裏付けられた麻酔診療の実施は必要不可欠で

あるため、専攻医は、大病院だけでなく、地域での中小規模の研修連携施設においても一定の期間は麻酔研修を行い、当該地域における麻酔診療のニーズを理解する。

15. 専攻医の就業環境の整備機能(労務管理)

研修期間中に常勤として在籍する研修施設の就業規則に基づき就業することとなります。専攻医の就業環境に関して、各研修施設は労働基準法や医療法を順守することを原則とします。プログラム統括責任者および各施設の研修責任者は専攻医の適切な労働環境(設備、労働時間、当直回数、勤務条件、給与なども含む)の整備に努めるとともに、心身の健康維持に配慮します。

年次評価を行う際、専攻医および専門研修指導医は研修施設に対する評価(Evaluation)も行い、その内容を専門研修プログラム管理委員会に報告する。就業環境に改善が必要であると判断した場合には、当該施設の施設長、研修責任者に文書で通達・指導します。